

広島平和記念式典に

参加して

8月6日(金)広島市で開催された広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に、市が募集した「平和の作文」で最優秀、特選に選ばれた中学生4名が参加しました。平和記念公園の慰霊碑、記念碑、原爆ドームの見学、そして語り部さんによる原爆体験を聞くなど、平和の尊さについて改めて考える貴重な体験をしました。

問合せ 人権推進課

☎(43)1111 内線162

参加生徒のコメント

戦争、そして原爆の悲しみに気づかされた2日間でした。同時に、式典に今年初めて参加された各国代表や、国連事務総長を拝見して核放棄への確実な歩みも感じることができました。

献花や折鶴で祈りをこめることで、その一步に少し協力することができたと思います。黙祷を捧げた8時15分、広島が一つになったあの1分間が、心に強く焼きついていきます。

初めて見た原爆ドームは、周りの空間から切り離され、その場所だけが、1945年8月6日から時間が止まったように感じました。



▲原さん(語り部)の話に耳を傾ける

ているようでした。

平和記念資料館では、原爆の模型や、8時15分で止まった時計、被爆者の遺留品などが展示されていて、原爆の恐ろしさを物語っていました。原爆の爆炎に巻き込まれ、苦しい最後をむかえた人々の表情が浮かびあがるようでした。

真つ赤な太陽が照りつける日。被爆者の原さんのお話を聞き、式典に参加しました。

一番心に残ったことは、戦争は想像する以上に恐ろしいということ。『平和』の中で過ごせることは、あたりまえではなく、みんなの力で成り立っているのだということが実感でき、とても幸せなことであると思いました。

式典の資料に入っていた金色の折紙を、世界に核兵器や戦争で悲しむ人が誰一人いなくなるようにと一折り、一折り、祈りをこめて鶴を折りました。

被爆者の原さんのお話を聞いたり、資料館での見学、

そして式典に参加するなど、貴重な体験をすることができました。原さんは、「原爆を見て、聞いて、嗅いで感じた。実際の原爆は資料館にあるものよりもはるかに残酷だ。」と言っていました。資料館では、見て聞いて、肌で感じることはできませんでした。印象に残ったものは、原爆が与える人体への影響を記録した写真です。想像以上の恐ろしさに、体中に鳥肌がたち、足がすくみました。改めて、戦争の恐ろしさ、愚かさ、悲劇さを感じました。今回感じたこと、学んだことは忘れず、世界中が平和になるよう、これからの世代に伝えていかなければならないと思いました。



▲原爆ドームを背に集合写真

犯罪の被害にあわないために…

▼犯罪の発生状況

幸手市では平成22年1月から6月までの間で、452件の犯罪が発生し、県内の市町村別犯罪率（人口1,000人あたり）は8.51ポイント（昨年度同時期は7.55）と、県内で10番目の高さになっています。

なお、今年上半期（1月～6月）の地区別犯罪発生状況は右表のとおりです。自分の住んでいる地区でどんな犯罪が多く発生しているのかを知り、ご家庭などでも被害にあわないための対策を考えてみてください。

地区名	空き巣	忍込み	自転車盗	非侵入窃盗	車上ねらい	部品ねらい	自販機ねらい	万引き	器物破損	その他
中	2		20	2	4			3	4	18
行幸			1	3	1	3			2	4
長倉			2	1	14	1		1	4	16
香日向			1	2					2	3
北			2	4	4	1		4	8	10
上高野	2		25	11	15	2	1	72	10	22
東		2	4	2	12	2		5	8	27
栄			15		1	2			1	11
権現堂川	1			3	1	1	1		1	10
吉田		1	1	7	1	1	2		1	2
八代			1	3	4	2				9

（資料提供 幸手警察署）

空き巣

空き巣被害は、みなさんの身近なところで発生しています。大切な財産がなくなってしまうとともに、見知らぬ者に自宅などに踏み込まれたという、精神的被害も大きく残ってしまいます。

空き巣被害にあわないために、つぎのような対策をとります。

- ① ドアをツーロックにする。
- ② 窓には、補助錠をつける。
- ③ 短時間の外出でも必ず鍵をかける。
- ④ 庭木や塀を低くして、見通しをよくする。
- ⑤ 家の周りに、2階への侵入に使われる踏み台となる物を置かない。
- ⑥ 防犯合わせガラスや強化ガラスなどの防犯対策ガラスを用いる。
- ⑦ 防犯カメラを設置する。

自転車の盗難

自転車の盗難は、多く発生しています。被害を防止するためにつぎの点に注意してください。

- ① 2つ以上、鍵を取り付け

- ② 止める時間がわずかでも、しっかりと施錠する。

- ③ 歩道などに駐輪せずに、管理された駐輪場を利用する。

- ④ 持ち主がわかるように名前や連絡先を記入し、必ず防犯登録をする。

※万が一、自転車の盗難にあつた場合は警察に盗難届を出すようにしてください。

防犯登録をせず、盗難届も出さないと、盗まれた自転車は「放置自転車」になり、地域に迷惑をかけたり、別の犯罪に利用される可能性もあります。

車上ねらい・部品ねらい

車上ねらい

車上ねらいは、自動車の中に置かれたバッグや財布など金品をねらった犯罪です。また、カーナビやオーディオ機器、タイヤなどの窃盗を目的とした「部品ねらい」や、車のガラスや鍵を壊す「器物損壊」も多発しています。車上ねらいを防ぐため、つぎの点に注意しましょう。

地域の人たちの「目」

- ① 車を離れるときは、車中にバッグや財布などの貴重品を置かない。
- ② わずかな時間の駐車でも、必ず鍵をかける。
- ③ 盗難防止装置や警報装置を取り付ける。
- ④ 駐車場所を明るくしたり、死角をつくらないように心がける。

犯罪者は、人に見られる、また声をかけられる事を嫌います。普段から、地域内で声かけやあいさつが行われていること、また、普段見かけない人が、家の様子をうかがうなどの不審な行動をとっていたら、「何かご用ですか」など、一声かけてみることで、防犯に大きく役立ちます。

犯罪を未然に防ぐためには、地域のみなさんの結束力、そして、地域の人たちの「目」が大切です。

問合せ 幸手警察署 ☎（42）0110 または、くらし安全課 ☎（43）1111 内線 173